

令和7年度版

あげお 学びのイノベーション

2nd GIGA

学びのイノベーション
次のステージへ...



上尾市は、GIGAスクール構想により
今までの教育実践×最先端のICTで新たな学びを創造し続けます！

上尾市小・中学校の充実したICT環境

学校ICT支援員の
学校派遣(週に1回)



校内無線LAN・高速ネットワーク
(各教室・特別教室・体育館)



授業支援システム
「スクールタクト」



大型モニタ
電子黒板



ライセンス
eライブラリ
アドバンス

AI型教材
「ライズ e ライブラリ」

事例で学ぶ
Netモラル

情報活用能力育成教材
「事例で学ぶ Net モラル」

学習プラットフォーム



Google Workspace for Education Fundamentals

3Dプリンター(中学校)
多様なプログラミング教材



Life is Tech!
Lesson

ICT端末(学習者用・教師用)

デジタル採点
システム(中学校)

指導者用デジタル
教科書

校務支援
システム



家庭用貸出
モバイルルーター



学校メール
配信システム



遠隔学習用機器
(マイク付きカメラ)



上尾市教育委員会

あげお学びのイノベーション 2ndGIGA 新たな学びの創造へ



多様なICT環境で、授業等における
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を図ります

小・中学校共通のICT支援ツール ※一部抜粋

協働学習・自己調整学習等でスクールタクト

☆特徴⇒教師が動く教材を作成することができます。教師が児童生徒の学習を把握したり、児童生徒が互いの考えを共有し学び合ったりすることができます。

☆機能⇒「協働学習支援」「自己調整学習支援」「ログ分析」

- ・リアルタイムでの学習状況の把握
- ・ワンタッチで「ワードクラウド」
- ・豊富な課題テンプレート
- ・投票機能
- ・黒板機能
- ・思考ツール 等



ライズeライブラリ(AI型教材)で個別最適な学びを実現する

☆AI型教材を中心とした豊富なコンテンツで、主体的な学びを促す学習支援サービスです。



☆苦手の克服に加え、得意や興味関心に応じて教材をおすすめし、1人1人の学習状況に応じた、個別最適な学びを実現します。



学びの保障オンライン学習システム MEXCBT

☆文部科学省が開発した「デジタル学習システム」です。

⇒登録された問題集に自由に取り組むことができます。

☆令和6年度より、埼玉県学力・学習状況調査は、本システムを通して、CBT (Computer Based Testing) 形式で、実施されております。



事例で学ぶ Netモラル

☆特徴⇒「いつでも、どこでも、だれでも、情報モラル教育を！」をコンセプトにした情報モラル教材であり、豊富な事例アニメーションを通して学ぶことができます。

☆機能⇒情報モラル教材・個別学習支援
映像学習・オンラインドリル
プリント教材 等

中学校のICT支援ツール ※一部抜粋

正確で早い採点を実現するデジタル採点システム

☆紙の答案用紙をスキャナー等で取り込んでデジタル画像化し、採点できるシステムを全中学校に導入しています。



ライフイズテックレッスンでプログラミング的思考の育成

☆ネットワークを利用した双方向性コンテンツのプログラミングによる問題解決を行うことでプログラミング的思考を伸ばします。



ICT機器の利活用を強力サポート

学校ICT支援員



☆令和7年度も、市内全小・中学校に対し、週に1回ずつ、学校ICT支援員を派遣し、ICT機器の利活用を強力にサポートします。

☆学校ICT支援員の主な業務は、以下のとおりです。(※一部抜粋)

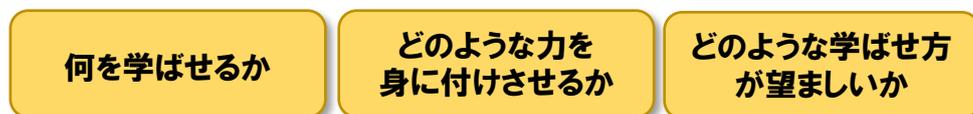
- 授業支援：教員がICTを活用した授業を行う際に、機器の操作やトラブルの解決などをサポートします。
- 校務支援：学校内の事務処理や校務システムの操作を支援します。
- 環境支援：機器やネットワークの設定やメンテナンスを行い、学校内のICT環境を整備します。
- 研修支援：教員向けのICT研修やワークショップを実施し、スキル向上を促します。

ICTを活用した授業づくり



手順1 授業のねらいを明確にして、3つの視点から授業を組み立てる

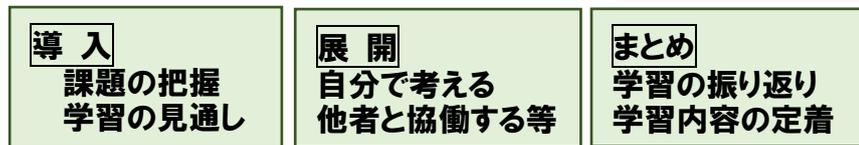
授業の組み立てに必要となる3つの視点



事前にアンケートをとりたいな。そして、より多くの考えを知る(把握する)方法はあるのかしら？



授業の組み立て(例)



上尾市教職員専用 ICT サポートサイト

- 上尾市教職員に割り振られたアカウントでのみ接続ができます。
- 最新情報の提供や、市内小・中学校におけるICT端末等の効果的な活用事例、各種マニュアル・規定などについて掲載しています。
- FAQとともに、サポートデスク機能も設けています。

令和4年7月開設



手順2 授業場面に応じたICT活用の検討

◇手順1で組み立てた授業「導入」「展開」「まとめ」における各取組において、授業のねらいを達成するために効果的なICT活用を検討する。



〈ある1時間の学習過程例 ~Google Workspace for Education Fundamentals を活用~〉
(T) 教師 (S) 児童生徒

導入 課題の把握 学習の見通し	展開 自分で考える 他者と協働する等	まとめ 学習の振り返り 学習内容の定着
<p>活用例</p> <p>フォーム Classroomに入る。 ↓ (T) フォームのリンクを投稿。 ↓ (S) 本時の課題に関わる質問について回答。 ↓ (T) フォームの結果を全体に提示。</p>	<p>ドキュメント (S) 本時の課題について、自分の考えをドキュメントにまとめる。 インターネット上の資料や教科書の挿絵などを取り込んで、考えの根拠となるものを整理する。</p>	<p>スプレッドシート (S) データを共有したり、集めたデータを表やグラフなどにまとめ、協働で分析したりする。</p> <p>スライド (S) 他者の意見と比較しながら、自分の考えを再考し、スライドにまとめる。</p>
		<p>スライド (S) スライドを提示しながら発表し、クラス全体で内容の確認を行う。</p> <p>フォーム (S) 本時の振り返りを行い、自己評価を記述・回答。 (T) 定着の見届け実施。</p>

ICTは使うことが目的ではありません。あくまでも授業のねらいを達成するために使用し、活用するものです。

教師が児童生徒の学習状況を適切に把握し、その場で補充学習に繋げることなど、ICT端末を活用するメリットを生かしつつ、これまでの効果的な指導方法と組み合わせ、不易と流行のバランスをとることが大切です。



あげお 学びのイノベーション



2nd GIGA

学びのイノベーション
次のステージへ...

推進プラン

1st
GIGA期

令和3年度

触れる

目標☞1日に1~2回活用

目標達成!

令和4年度

慣れる

目標☞1日に2~3回活用

目標達成!

令和5年度

活用する

目標☞児童生徒が日常的に活用

目標達成!

令和6年度

探究する

ステップ①

目標☞1日に3時間以上の授業で活用

授業における「児童生徒同士によるICT端末の活用」促進

「さらなる授業改善」と「デジタル・シティズンシップ教育の充実」

令和7年度
(今年度)

実践する



ステップ②

目標☞全校全学年でICT端末の家庭への持ち帰りを完全実施

「個別最適な学びと協働的な学びの一体的に充実させた授業の推進」

「家庭学習改革」

★授業支援システム(スクールタクト)・AI型教材(ラインズ e ライブラリ)の有効活用

★望ましいメディアバランスの育成 ★「事例で学ぶ Net モラル」の活用

★「上尾市教職員専用ICTサポートサイト」の活用

令和8年度

共有する



ステップ③

目標☞授業におけるICT端末の効果的な活用方法を全教員が理解 等

「日常的な授業実践事例のICTサポートサイトでの共有」

「小中一貫教育におけるICTの活用に関する研究推進」等

※現時点での推進イメージであり、変更する場合があります。

- ICT端末・充電保管庫・モバイルルーター・ネットワーク等の設置・整備に関することは、
上尾市教育委員会教育総務部教育総務課 (775-9469) にお問い合わせください。
- ICT端末の利活用に関すること・学校ICT支援員の派遣に関することは、
上尾市教育委員会学校教育部指導課 (775-9672) にお問い合わせください。



上尾市教育委員会